



離島でのICT教育の可能性について語る沖繩総合事務局の能登靖局長＝3月24日、那覇市の自治会館

離島にICT教育を

那覇で講演会 座間味など事例報告

高校のない県内離島で情報通信技術（ICT）を活用した教育の在り方を考える講演会「離島」における高校教育の可能性「離島が日本の明日を拓く」が3月24日、那覇市の自治会館で開かれた。インターネットを介して学習塾や合同授業を行っている座間味村や与那国町の事例について沖繩総合事務局の能登靖局長が報告した。伊江村の島袋秀幸村長らが参加し、ICT

T教育の拡大を期待した。地域創生を考えようと一般社団法人地球共生ゆいまーるが年に1回開く「どうなる・どうするあなたの町村」第3弾として学校法人桜美林学園（東京）と共催した。地球共生ゆいまーる評議員で桜美林中学校・高校の大越孝校長も登壇し、海外との連携や沖繩での学習を重ねる同校の取り組みを報告した。ICTを活用した教育関連事業は、一括

交付金を活用して2014年度から、渡嘉敷、座間味、波照間、阿嘉、慶留間、竹富、久米、南大東の各島でテレビ会議システムを用いて現役東大生による「遠隔塾」が行われ、成績向上、資格取得などの成果が出ている。また与那国町では琉球大と連携して帰省中の高校生を対象とした授業、与那国中と久部良中の合同授業が行われている。